

(A)組 ( )番 氏名 ( )

アトリウムの壁画のタイルの総数の推測

7 班 メンバー

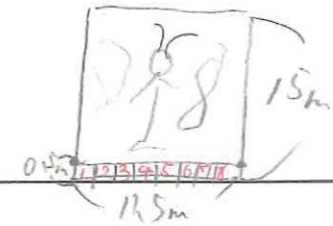
1) アトリウムの壁画のタイルの総数を母集団の大きさ、床上0.5mまでのタイルの総数を標本の大きさとする。

2) 標本の大きさを調べる方法・工夫した点

色、模様ごとにタイルの石と数えました。アタロケで数えました。

3) 母集団の大きさを求める方法・結果

1列目〜8列目の和の標本の大きさを求める → 10269個
母集団の大きさを求める式を作る → 0.5m : 1.5m = 10269個 : x
0.5x = 154035
x = 308070
よってタイル総数は308070個と分かる



4) 分かったこと・感想

最初に予想していた10050個とは違い、約30倍程の数の308070個になったことに驚きました。
全てでいくらかかたのか気がなりました。



(B)組 ( )番 氏名 ( )

アトリウムの壁画のタイルの総数の推測

4 班 メンバー

1) アトリウムの壁画のタイルの総数を母集団の大きさ、床上0.5mまでのタイルの総数を標本の大きさとする。

2) 標本の大きさを調べる方法・工夫した点

各エリアの数をすべて足したものが「標本の大きさ」なので、
1803+1958+1953+1205+1402+2427+1647+926=13321
だから標本の大きさは13321になる。

3) 母集団の大きさを求める方法・結果

0.5m : 1.5m = (標本の大きさ) : x だから、数字をはめて、
0.5m : 1.5m = 13321 : x になる。
xを求めるために 15 × 13321 ÷ 0.5 = 399630.1 になる。
だから母集団の大きさは399630.1になった。



4) 分かったこと・感想

アトリウムみたいな数えきれないくらいのタイルでも、標本調査で、だいたいの数はわかると学んだので、これからも生かしていけたらいいと思います!!
予想は10万個だったけど、39万個もあってびっくりした。

